



リーディングDX 研修会だより①

佐渡市教育委員会
指導主事発行
令和6年10月7日(月)

リーディングDXスクール事業について

今年度、佐渡市は文部科学省からリーディングDXスクール事業の指定を受けています。リーディングDXスクール事業とは、GIGAスクールの標準仕様のタブレット端末に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を十全に活用し、児童生徒の情報活用能力の向上を図りつつ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実や校務DXを行い、先進的(リーディング)な好事例を全国に展開する文部科学省事業です。研究指定校として内海府小・中学校が中心となって教育DX、校務DX、生成AIの活用に関わる研究を学校DX戦略アドバイザーや県立教育センター指導主事の指導を仰ぎながら進めています。本事業に関わって、9月19日(木)に、第1回リーディングDX研修会を開催しました。研修会の概要は以下の通りです。

○目的： 学校DX戦略アドバイザーの講演会や内海府小・中学校のICT活用実践報告会を通して、汎用的なソフトウェアとクラウド環境を活用した効果的な教育実践を学ぶ。

○当日の内容

I部 実践発表(内海府小・中学校) 「学習DX・校務DXの事例紹介、AI活用に向けて」

II部 講演会 講師 上越教育大学大学院 学校教育研究科 教授 清水雅之 様

『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実に向けた授業改善・一人一台端末の活用事例」

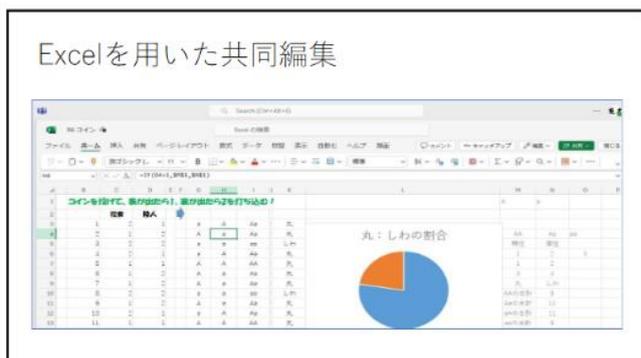
内海府小・中学校の取組について

今号では、研修会の前半部分、内海府小・中学校の実践発表について紹介します。

内海府中学校の先生方から以下の内容についての発表がありました。

(1) 汎用ソフトを活用した授業実践(理科)紹介

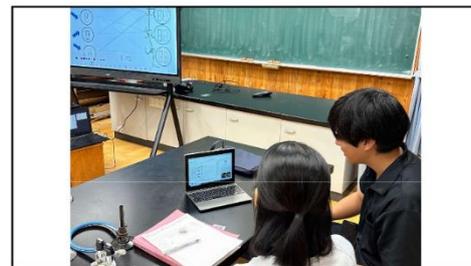
①「実証性」「再現性」「客観性」を担保するために、TeamsとExcelを用いた他校との実験結果の共有・考察



	A	B	C	D	E
1	1班				
2		A デンプン溶液+だ液		B デンプン溶液+だ液	
3		A ア	A イ	B ア	B イ
4					
5					
6					

②協働的な学び（考えの練り上げ）のための他校との遠隔授業
（Teams 「会議」の活用）

→意見集約機能やポイント付与機能のある ClassPoint を活用し、授業者と生徒、生徒同士の対話を促す。



（2）Padlet、Canva、Exploratory などの汎用ソフトを活用した校務DXの事例紹介

汎用ソフト	機能・活用例
Padlet	オンライン掲示板。文書等をクラウド上で共有・閲覧可能 例) 時間割、週予定、年間行事予定等のクラウド共有
Canva	発表資料、チラシなどを作成することのできるグラフィックデザインツール 例) 発表資料作成
Exploratory	ファイル・データベース等の様々な情報を集約・分析するためのソフト 例) 児童・生徒アンケート集約・分析

（3）生成 AI の校務利用・学習利用の導入について

・生徒と保護者を交えた生成 AI の学習会を開催（生成 AI の機能、良さ、使用上の注意点等について学習）

・今後生成 AI を活用した教育実践に取り組む予定



※リーディングDXスクール事業HP (<https://leadingdxschool.mext.go.jp/>) で全国のリーディングDX指定校の実践を見ることができます。